



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター

山本 洋平 先生

山本耳鼻咽喉科 院長



難聴について

聞こえが悪くなる原因には、大きく分けて二通りあります。一つは耳の中の音を伝える部分が悪くなって起こるタイプ（伝音難聴）、もう一つは耳の中の音を感じる部分が悪くなって起こるタイプ（感音難聴）です。伝音難聴を起こす病気には、風邪を引いた時などに急に耳が痛くなる急性中耳炎、中耳炎を繰り返すことにより鼓膜に穴が残って耳漏れを繰り返す慢性中耳炎、綿棒の入れすぎや平手打ちなどの衝撃で鼓膜が破けてしまう鼓膜外傷、耳の穴に耳垢が詰まってしまった耳垢栓塞などがあります。感音難聴を起こす病気には、年とともに聞こえの神経の働きが悪くなる加齢性難聴、急な難聴と共にぐるぐる回るような眩暈を繰り返すメニエール病、片側の聞こえが突然急に悪くなる突発性難聴などがあります。

これらの難聴を来す病気は適切な時期に治療を受ける事で聞こえが改善する場合がありますが、気をつけていただきたいのは発症してから時間が経ちすぎてしまうと治りにくくなる病気がある事です。代表的なのは突発性難聴で、その名の通り或る日突然、急に聞こえが悪く感じたり、耳鳴やトンネルに入った時のような詰まった感じが出現したりします。発症して2週間程度であれば、難聴の程度にもよりますが治療によって聞こえが回復する可能性が

高いのですが、2週間を越えると急激に改善率が低下してしまいます。このような症状を感じた時はなるべく早めに医療機関を受診されることをお勧めします。

年齢による変化で徐々に聞こえが低下していくのが加齢性難聴です。病気ではありませんので、残念ながら治療によって聞こえが良くなることはありません。しかし、ある程度難聴が進行すると日常生活に大きな影響を及ぼすようになってしまいます。会話がうまく出来なくなるため、引きこもりぎみになって外界との刺激が少なくなります。刺激が少なくなると脳の働きはどんどん低下して、認知症を発症するリスクも高まってしまうのです。その為、本人はもちろん周囲の人も聞こえが悪いと感じられるようでしたら、補聴器の装用を積極的に考えたほうがよいでしょう。補聴器は使い始めの頃は違和感が強く、こまめな調整が必要なのであまりよく聞こえないと感じられる方もおられます。しかし適切な調整が完成し、補聴器の聞こえに慣れてきますと徐々に効果が実感できるようになります。また補聴器には様々な形状、性能、価格のものが存在します。どの機種が合っているのか、試聴を繰り返しながら色々相談して検討してみるのがよいと思います。

児童手当・特例給付 現況届の提出はお済みですか？

児童手当を受給している方は「現況届」の提出が必要となります。対象者の方には5月末に書類を送付していますので、まだ提出していない方は、必要書類をご確認の上、直ちに提出してください。現況届の提出がない場合、手当が差止めとなりますのでご注意ください。

提出に必要なもの

- 児童手当・特例給付現況届（市から送付済みです）
- 厚生年金保険等に加入の場合は、受給者の「保険証の写し」
- 認め印 ※その他、状況によって提出する書類があります。

提出先 福祉課、稲垣出張所、車力出張所

※別居監護の場合は同封されている申立書と別居している児童のマイナンバー、児童がつがる市外に在住の場合は児童の世帯全員の住民票を使いますので、お忘れにならないようお願いいたします。

【問い合わせ先】福祉課 電話42-2111（内線233）

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

1枚300円

10月1日月 発売!!

ハライインジャンボくじ

（公財）青森県市町村振興協会

市では、障害者基本法に基づく施策を推進するため、「第3次障害者計画」を平成30年4月1日に施行しました。「わかりあい 支えあい ともにつながる 共生のまち」を基本理念に、障害のある人が地域で自立した生活を営むことができるよう、必要なサービス等の充実を図っています。

今回は、40年以上にわたり地域に根差した運営を続け、地域福祉の向上に貢献している社会福祉法人におじゃましました。

社会福祉法人 健誠会

健誠会は、昭和49年に知的障害者を対象に「月見野園」を設立、平成7年に「つがるの里(東京都委託)」を開設しました。

創立以来、「月見野園は入所者と職員の呼び名を持つ仲間の集まりである」を信条に運営し、支援を必要とする方に各種支援サービスを提供しています。これまでは、入所施設中心の運営でしたが、障害者の自立した生活を支援するためには、住居と就労の場が必要との方針から、グループホーム15棟、「月見野食房」や「夢工房月見野」などの就労支援施設5棟を開設。入所施設やグループホーム、在宅から就労支援施設に出勤し、弁当、ハム、かりんとう、豆腐、パンなどを製造販売しています。

このような生産事業のほか、地域のイベント等を通じて、地域の皆さんと積極的に交流しています。



夢工房月見野
事務長 天坂 諭さん

健誠会の主な事業所をご紹介します

■月見野食房（本館/別館）

就労継続支援“雇用型”（定員40人）

【活動内容】食肉加工（ハム・ソーセージ製造）、お弁当作り、ラーメン製造

【特徴】利用者一人ひとりが日々の仕事や生活の中で力を発揮し、「仕事のしやすさ」「生活のしやすさ」を自分のものにしていくことを目指しています。また、ニーズに沿いながら、社会生活経験の充実や社会的自立を目指します。



本館

■多機能型事業所 夢工房月見野

就労継続支援“非雇用型”（定員15人）、生活介護（定員15人）

【活動内容】就労継続支援…菓子・豆腐製造、日用品・自主製品販売
生活介護…創作・生産活動の機会提供、食事・家事・入浴等の介助

【特徴】事業所内にある自主製品販売所では、各事業所で製造された商品が販売されており、地域交流機能を生かした地域密着型を目指すとともに、工賃倍増に繋げることを目的としています。



夢工房月見野で
製造・販売される製品

■多機能型事業所 いわきの里

就労移行支援（定員10人）、生活介護（定員25人）

【活動内容】施設外就労（ニンジン皮むき）、受託作業（野菜皮むき、海苔袋詰め）

【特徴】就労支援に関わる各機関（ハローワーク、就業・生活支援センターなど）と連携して利用者の求職活動等を支援し、雇用後のスムーズな職場定着を図っています。



いわきの里の作業風景

※利用者の安全を考え、健誠会の全ての施設が消防法および建築基準法（耐震性）の基準をクリアしています。